

富士市のごみ問題の 現状と 今後の対応について

富士市のごみを考える会

焼却量目標達成できず

25年度のごみ処理状況 1人1日当たりで53クラ上回る

富士市はこのほど、平成25年度の市ごみ処理状況の速報値のまとめを発表した。市が処理したごみ総量は8万3432ト。前年度に比べ2%（1686ト）減少し、12年連続の減少傾向を示した。市民1人1日当たりでは、排出量は市のごみ処理基本計画「フジスマー」トプラン21」に掲げた同年度の目標値を達成したが、焼却量では達成できなかった。

総量は12年連続で減少も

ごみ処理総量の内訳は、焼却量が7万1551ト、資源物量は9642ト、埋め立て・その他が2239トであった。市民1人1日当たりのごみ排出量は前年度比1.2%（10kg）減の834kgで、同プランに掲げた目標値880kgを46kg下回った。市廃棄物対策課は、ごみ処理総量の減少要因に資源物量の減少を指摘。民間事業者による古紙回収ボックスの普及により、古紙類が前年度に比べ376ト減少した影響が大きいとしている。

ターでの焼却量は前年比1.7%（1270ト）の減少。内訳は▽家庭系4万6152ト（前年比1.0%減）▽事業系その他2万1046ト（同1.0%減）▽下水・し尿汚泥4353ト（同11.9%減）。

市民1人1日当たりのごみ焼却量は713kgで、前年度比0.6%（4kg）の減。同プランの目標値660kgを53kg上回っている。同課によると「家庭系可燃ごみ、事業系可燃ごみについても、近年はほぼ横ばいから微減で推移している」としている。

資源物量を見ると、前年度比2.8%（281ト）の減少。ごみ

処理総量が減少した中で、資源物総量が減ったことにより、ごみ処理総量に対する資源物化率は前年度を0.1ポイント下回り、11.6%となった。

資源物の内訳は▽びん類1752ト（前年度比62ト減）▽かん・金属1522ト（同104ト減）▽古紙類2301ト（376ト減）▽剪定（せんてい）枝870ト（19ト減）▽ペットボトル506ト（23ト減）▽衣類・小物類443ト（38ト増）▽その他（電池・コード類・蛍光管）75ト（2ト増）▽小型家電304ト（268ト減）▽容器プラ1884ト（8ト減）▽廃食用油20ト（2ト増）。

前年度からまちづくりにセンターなどでの拠点回収を始めた衣類・小物類が9.5%増加。廃食用油も10.9%増加し、「小学校が拠点回収先として定着してきた」としている。

一方、容器プラについては年々減少傾向にあることから、「別意識の低下が考えられる」と課題を伝える。

ごみ処理総量 13年連続減少

26年度 資源物は古紙回収要因にアップ

富士市はこのほど、平成26年度の市ごみ処理状況の速報値をまとめた。市が処理したごみ総量は8万824ト。25年度に比べ2608ト（3.1%）減少し、13年連続の減少傾向を示した。減少率は過去5年で最大となっている。市民1人1日当たりの焼却量は688kgで25年度比25kg減と大きく減少したが、市ごみ処理基本計画「フジスマー」トプラン21」に掲げた目標値640kgは達成できなかった。

ごみ処理総量の内訳は、焼却量が6万9907ト（25年度比2480ト減）、資源物量は9969ト（同327ト増）、埋め立て・その他が1784ト（同455ト減）であった。焼却量のうち、最も減少率の高かったのが事業系。25年度に比べ8.8%（1858ト）の減少率を達成した。家庭系は1.6%（7

20ト）の減少、下水・し尿汚泥は2.3%（98ト）の増加。資源物量は、26年4月にスタートした協働型古紙回収事業により大幅な増加となった。内訳を見ると、▽びん類1728ト（25年度比24ト減）▽かん・金属1413ト（109ト減）▽古紙類2694ト（393ト増）▽せん定枝946ト

（7ト増）▽ペットボトル471ト（35ト減）▽衣類・小物類465ト（22ト増）▽その他（電池・コード類・蛍光管）71ト（4ト減）▽小型家電308ト（4ト増）▽容器プラ1850ト（1ト増）▽廃食用油22ト（2ト増）。

古紙類の増加は平成19年度以降初めて。24年度からまちづくりセンターなどの公共施設

で拠点回収を展開している衣類・小物類は年々増加している。容器プラは21年度の分別回収開始から年々減少してきたが、初めて増加に転じた。廃食用油については、「小学校が拠点回収先として定着してきた」（市廃棄物対策課）として増加傾向にある。

びん類、かん・金属、ペットボトルは減少傾

向が続いている。ごみ処理総量に対する資源化率を見ると12.3%。近年は減少傾向にあったが、25年度を0.7ポイント上回った。市民1人1日当たりのごみ排出量は25年度比22kg減の812kg。フジスマー」トプランに掲げた目標値860kgを48kg下回った。同プランは26年度が最終年度。市では本年度、プランの理念を基本的に引き継いだ「市ごみ処理基本計画2015」2024」を策定。ごみ処理を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながらごみ減量を進める方針を示している。

新計画では中間年度（31年までに）家庭系排出量（資源物を除く）470kg、資源化率18.0%、家庭系と事業系を加えた1人1日当たりの焼却量640kg、事業系ごみ年間1万6800トの目標値を掲げている。

150515_富士ニュース

140513_富士ニュース

私たちは、毎日、
どんなごみをどの位
出しているか

フジスマートプラン21 目標値と実績値との対比 (1人1日あたりの排出量 [g])

目標値超過分

(H26年度)

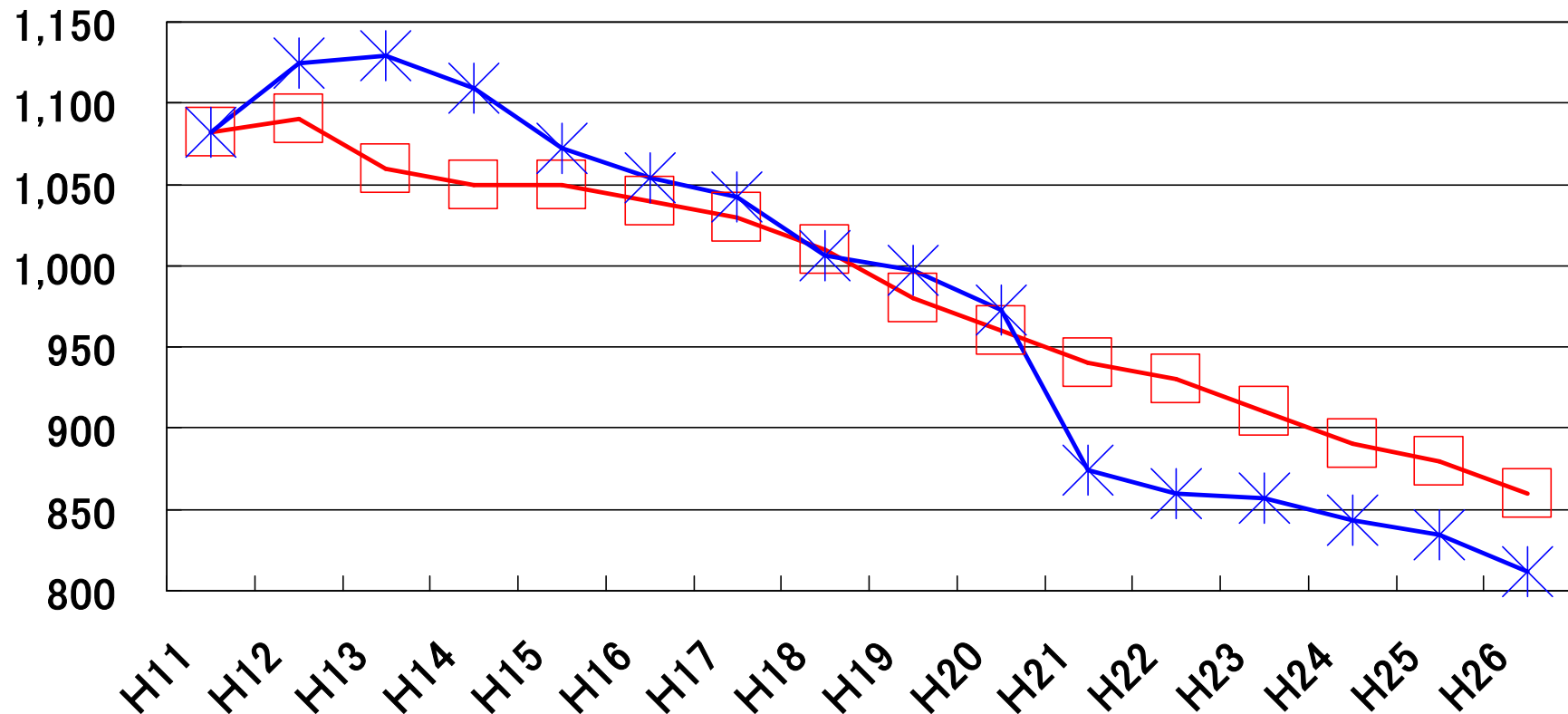
860 - 812

= 48g

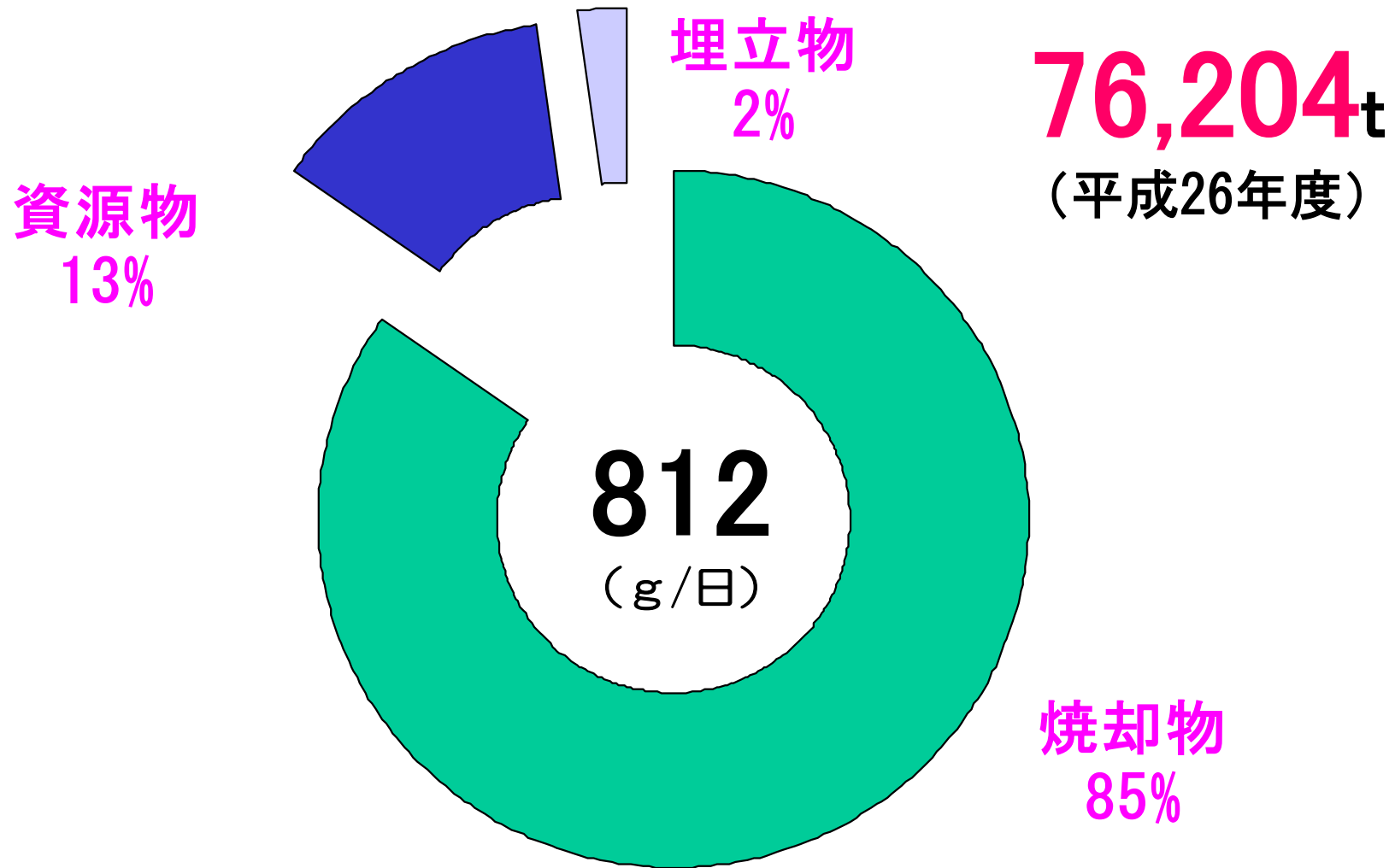
1. 小金井市(11.5万人): 634g

1. 松山市(55.6万人): 817g

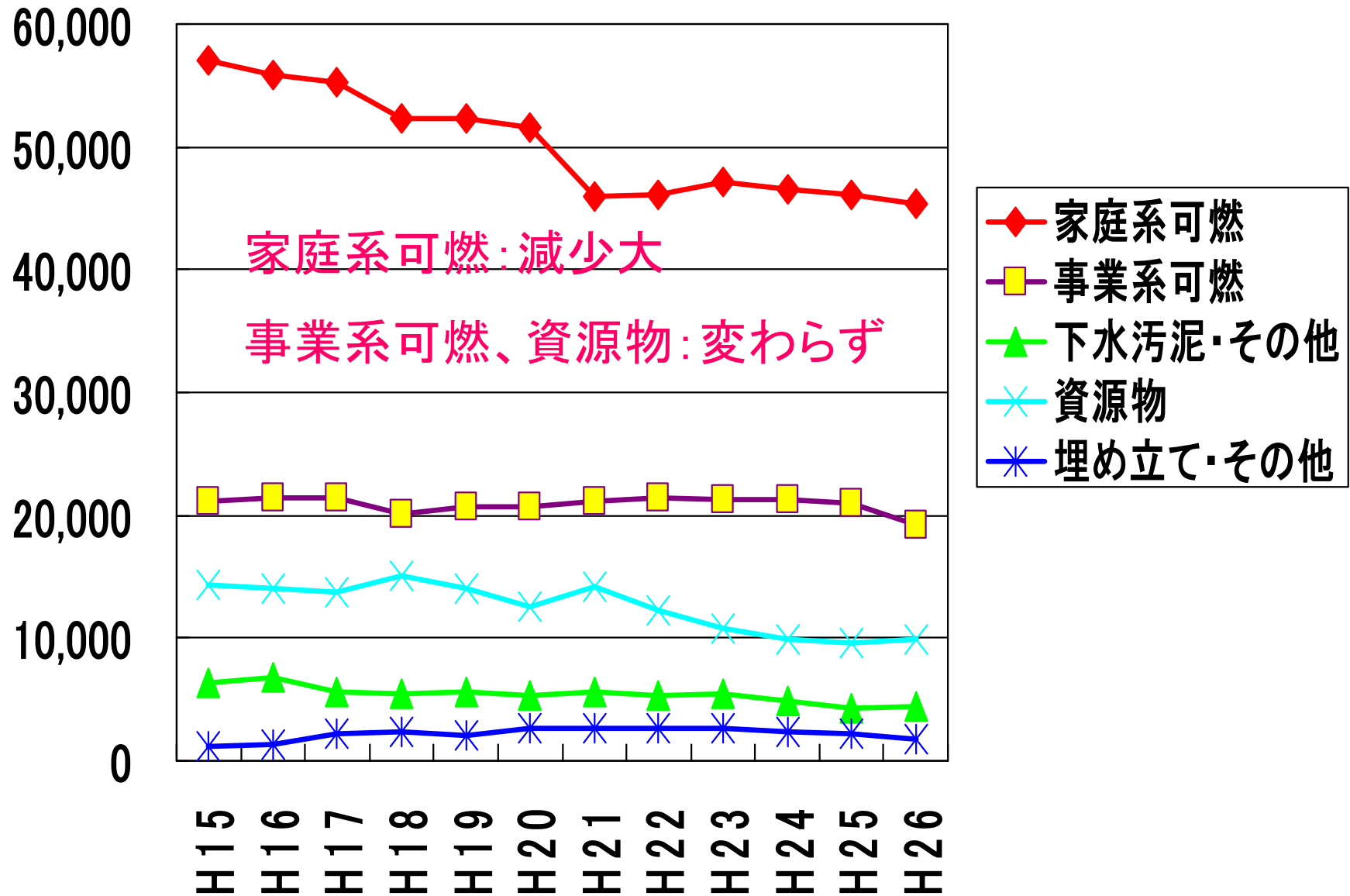
□ 目標値 * 実績値



私が1日に出してる“ごみ”

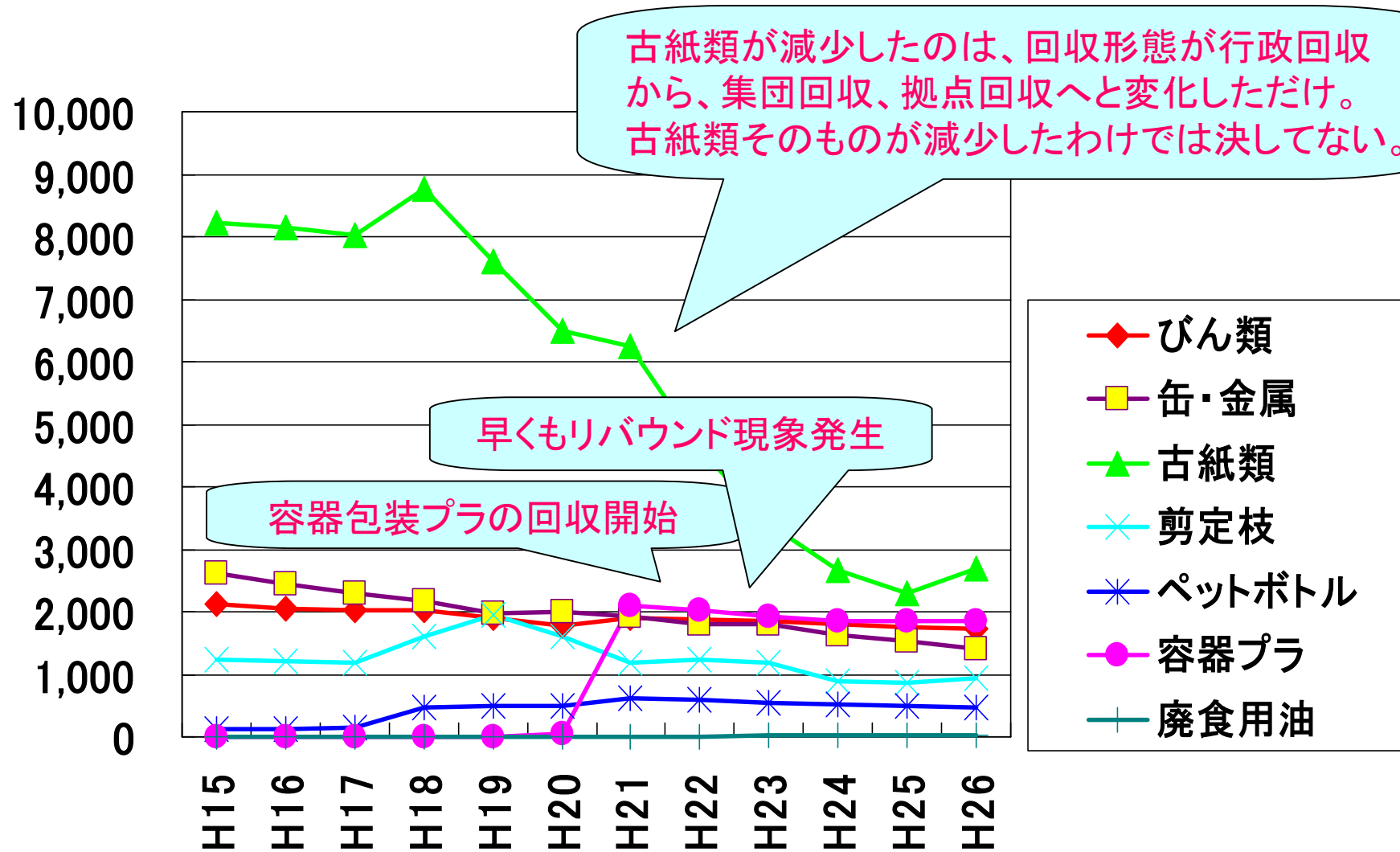


ごみの構成成分の変遷



資源物の構成成分の変遷

(行政回収のみ)



フジスマートプラン21 目標値と実績値との対比 (1人1日あたりの焼却量 [g])

目標値超過分

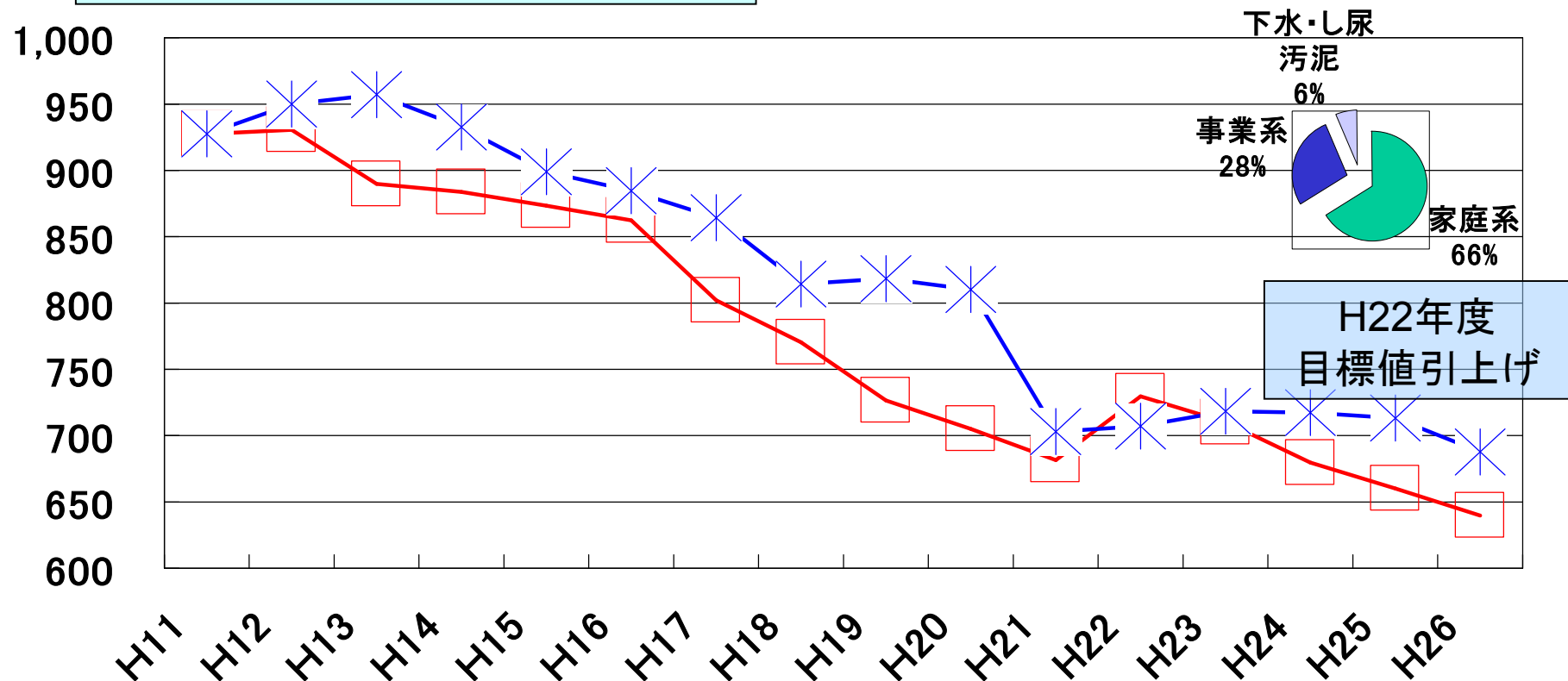
(H26年度)

688 - 640

= **48g**

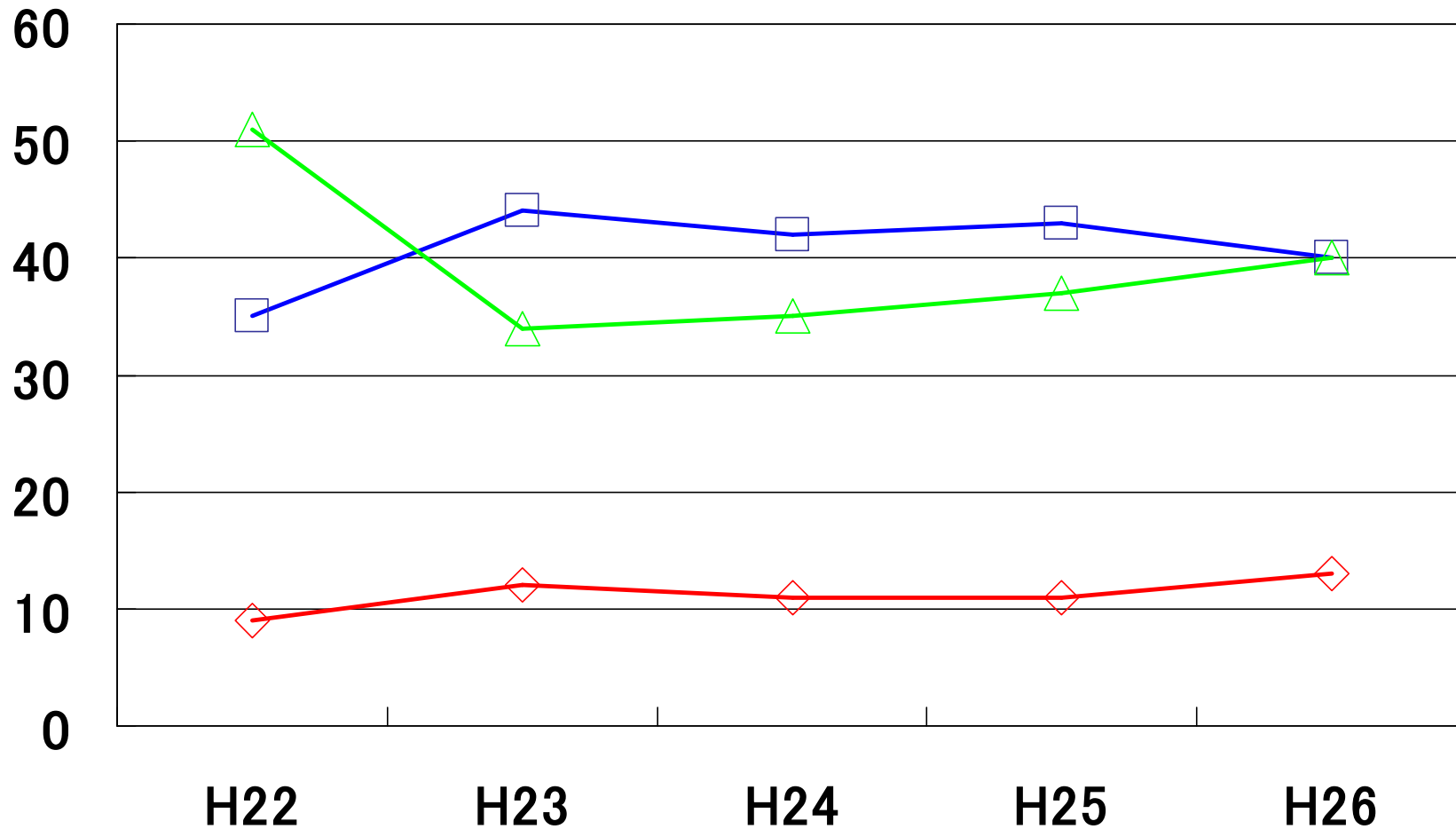
新設焼却炉能力: 250 t/日
排出量: 640g/日、実稼働: 280日/年

□ 目標値 * 実績値

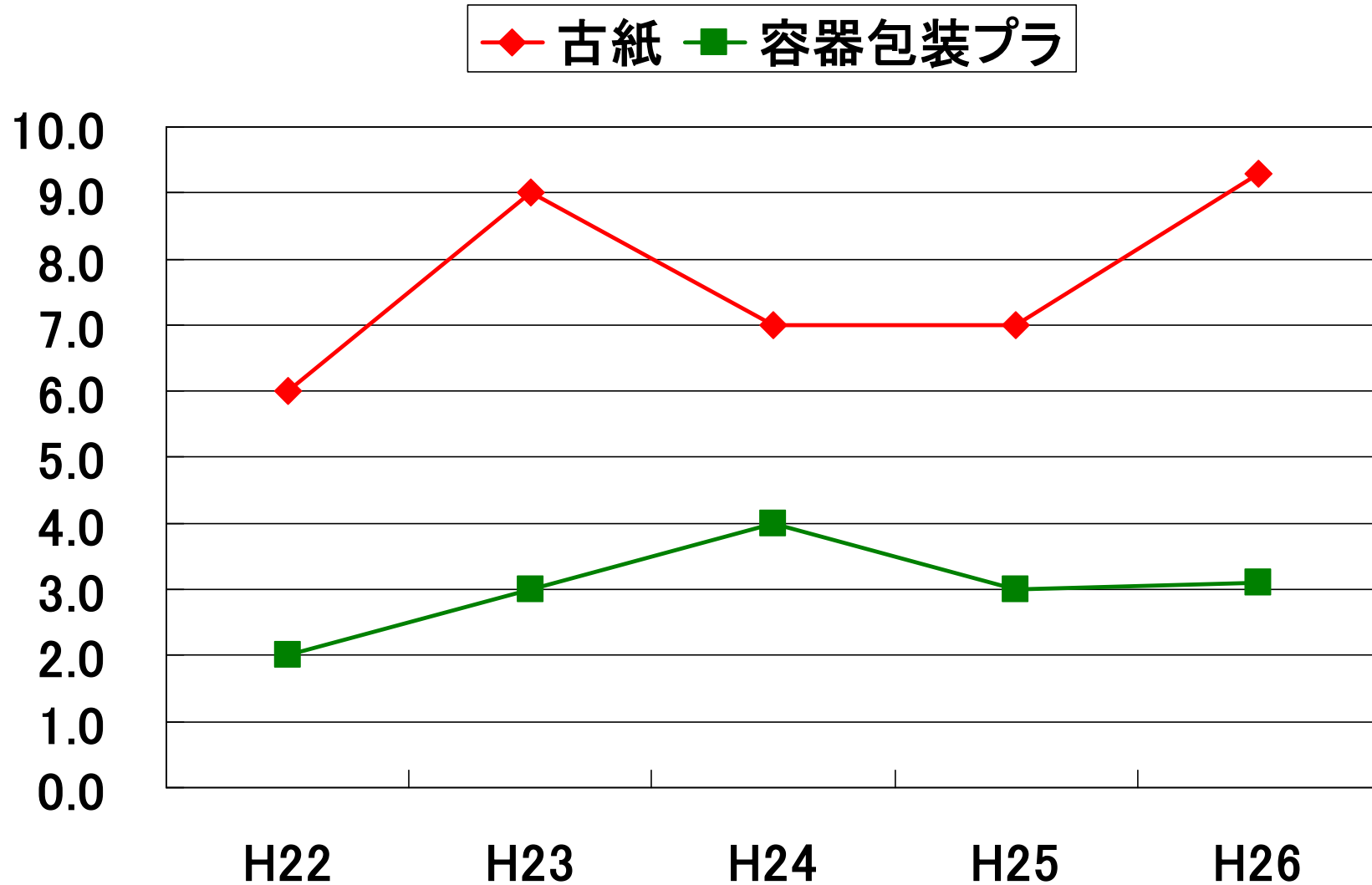


燃やすごみの内容調査

◆ 分別不適ごみ □ 生ごみ ▲ 生ごみ以外の可燃ごみ



分別不適ごみの構成物



“ごみ処理”って何か?!

- 排出者(住民)が不用となったもの
⇒捨てる時、できるだけ手間をかけたくない
- 処理する側(行政)
⇒できるだけ少なく、
処理しやすく別けて出してほしい

ごみを減らし、 資源化率を向上させる為には、

行政側から住民への強い指導が必須
(ほっといたら住民は手抜きに走る!!)

皆さんにお願いしたいこと

- 生ごみ減量・資源化(80%は水分)
 - 生ごみを作らない家庭生活の実践
 - 生ごみ自家処理(家庭用生ごみ処理機器、ボカシ)
 - 生ごみの一絞り運動
- 紙ごみ資源化
 - その他の紙の分別回収・資源化
- 容器包装ごみ減量・資源化
 - ペットボトル、白色トレイのステーション回収・資源化
 - マイバック持参運動
 - プラ製容器包装類の回収・資源化

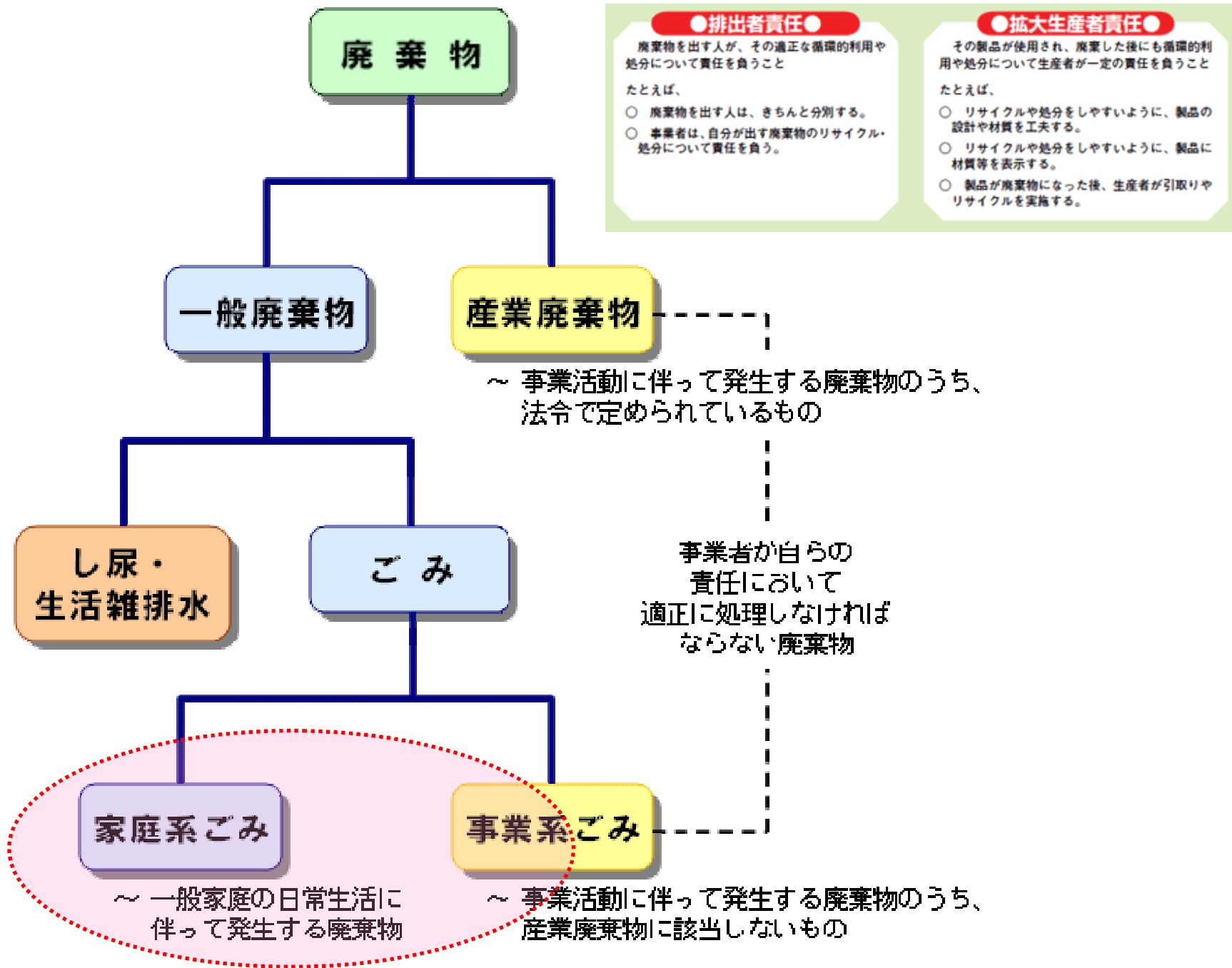
お話、難しかったですか？

本件に関するご質問・ご意見等ありましたら、
下記までご一報ください。

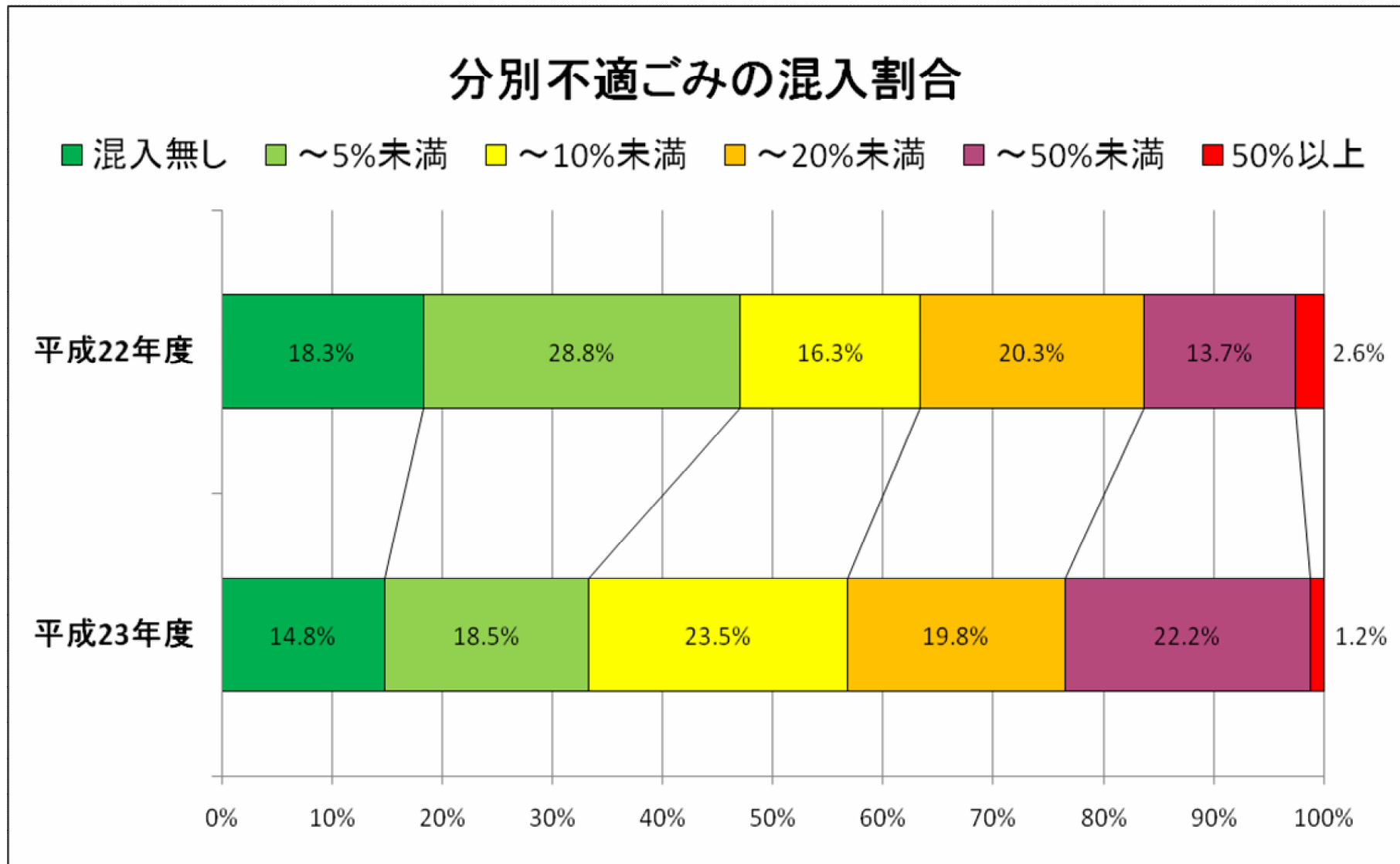
NPO法人富士市のごみを考える会

TEL:0545-61-3834

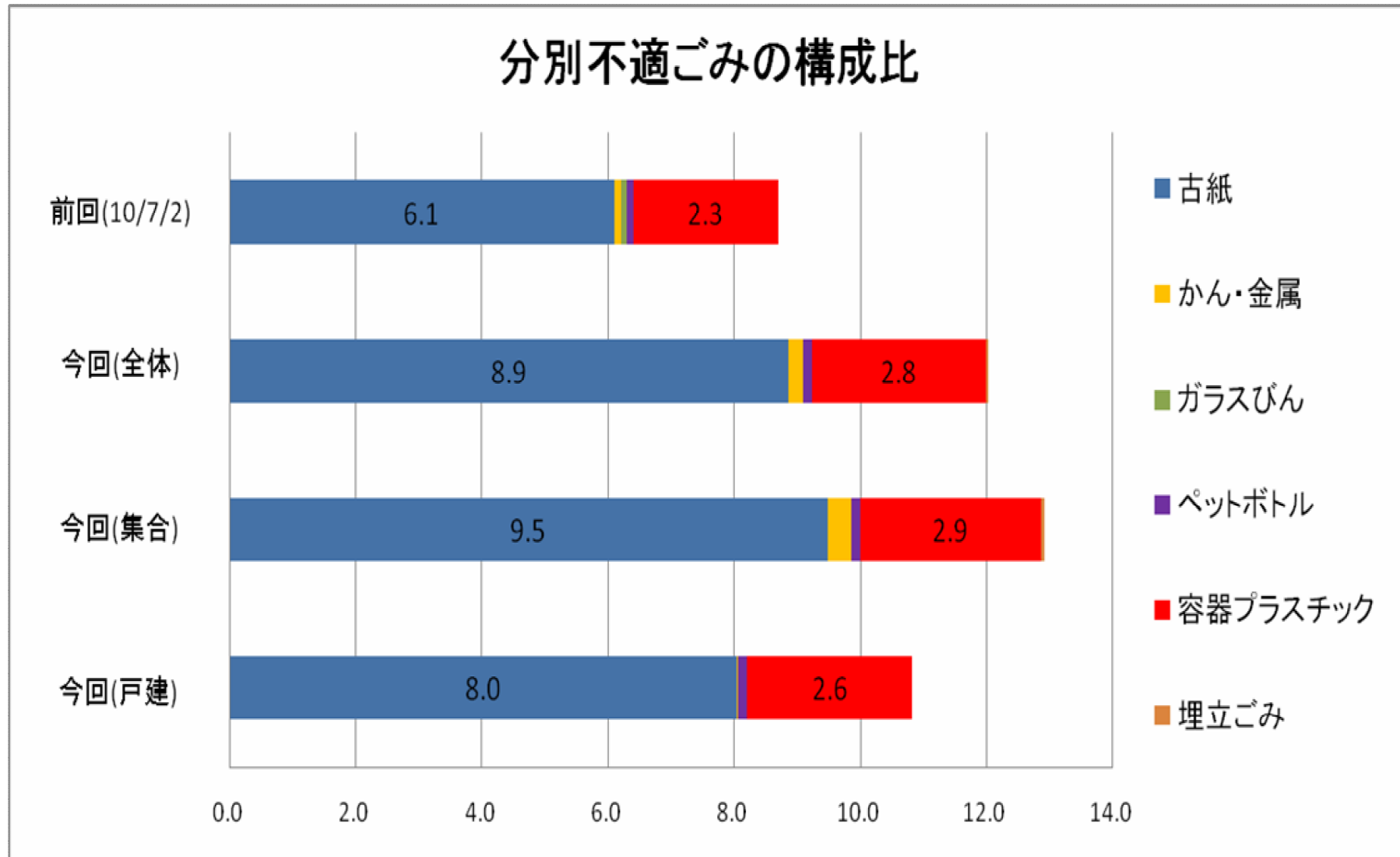
E-mail:tokita-y@cy.tnc.ne.jp



燃やすごみの内容調査(1)



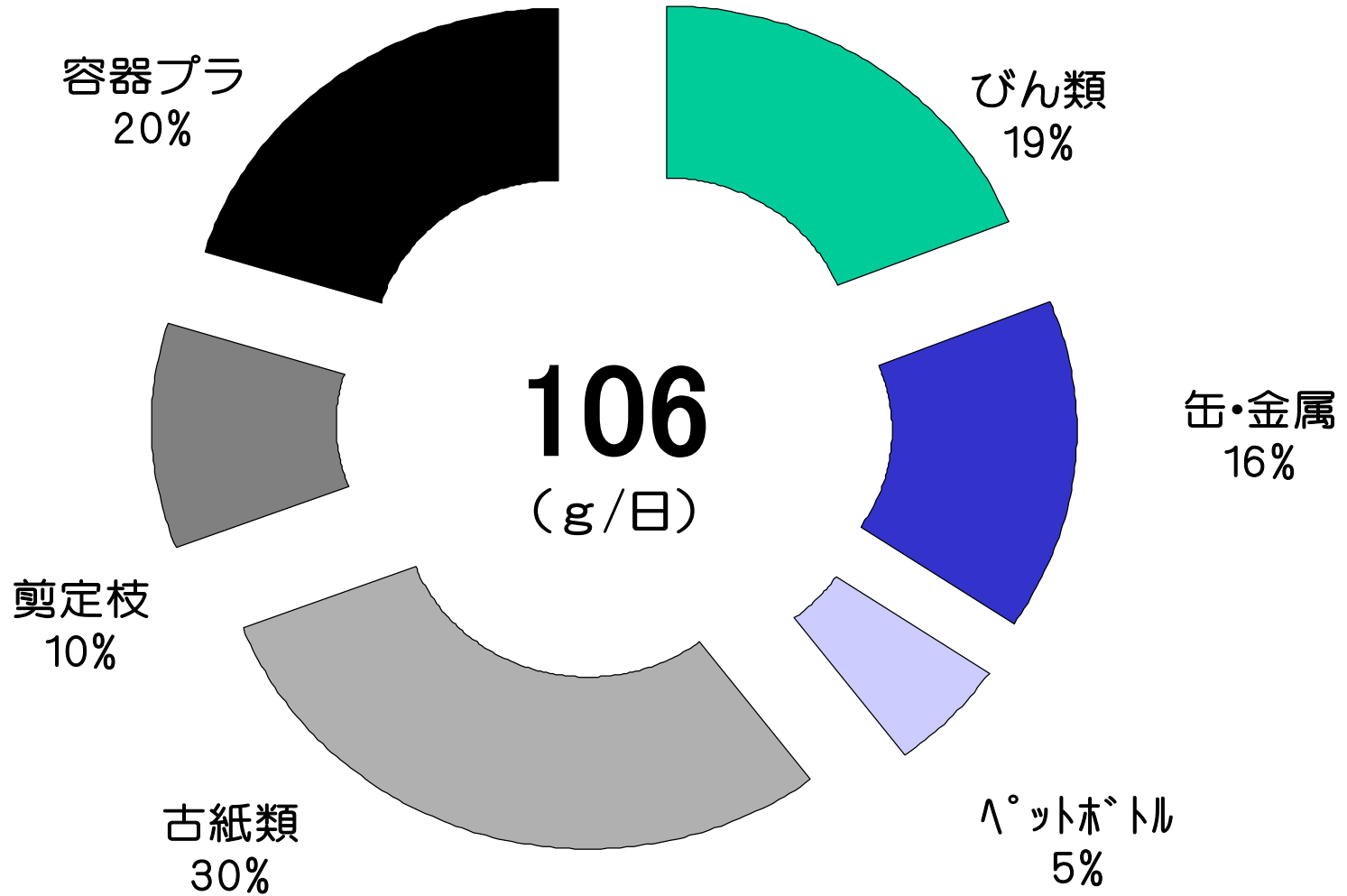
燃やすごみの内容調査(2)



富士市の平成26年度の

“資源化物”

9,969 t



フジスマートプラン21 目標値と実績値との対比

(資源化率 [%])

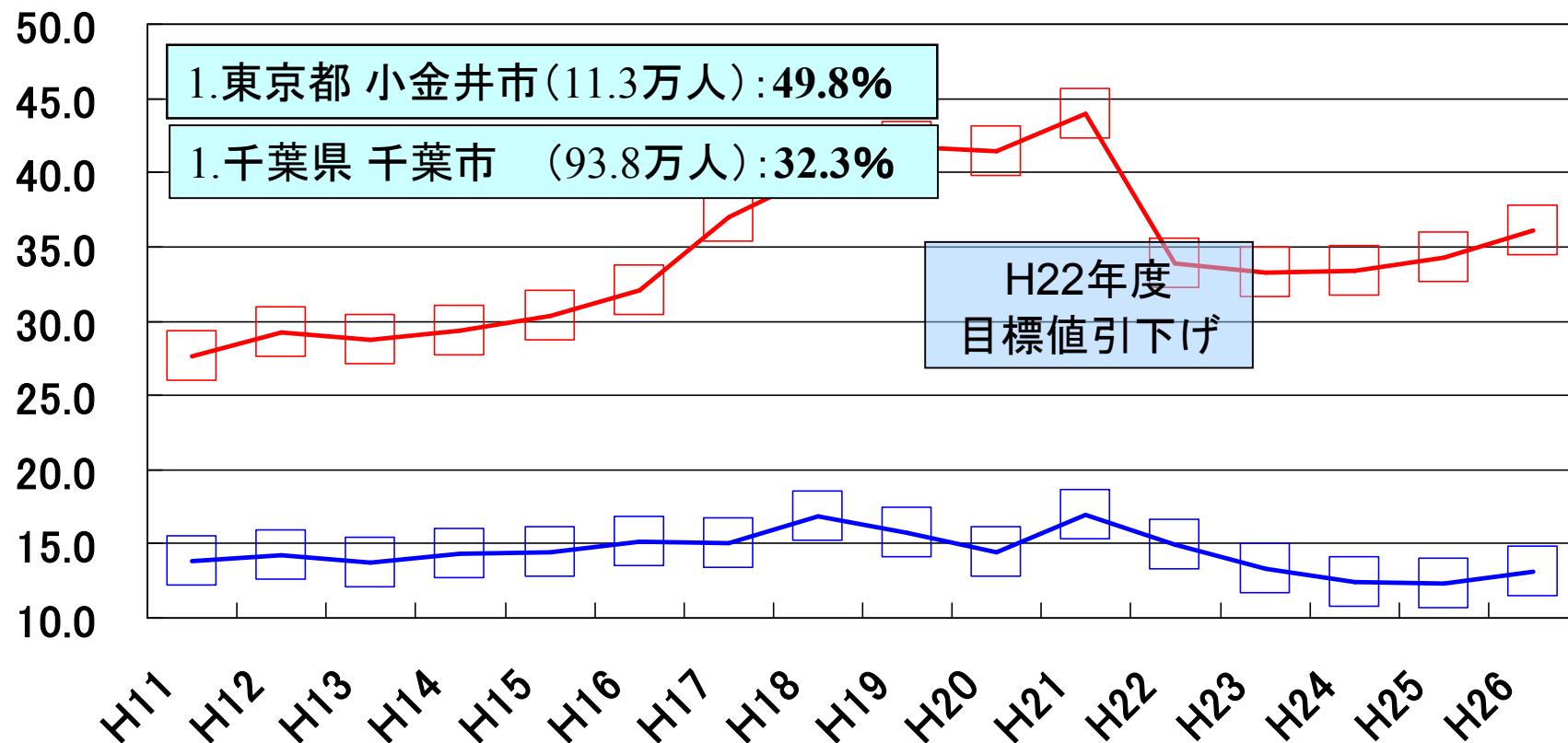
目標値不足分

(H26年度)

23.0 - 13.1

= **9.9%**

—■— 実績値 —□— 目標値



富士市のごみ処理状況総括

- 総排出量 & 焼却量：全国レベルで “ 中 ”
 - 市民の意欲（行政の姿勢、出前講座、有料化）
- 資源化率：全国レベルで “ 下 ”
 - 行政の施策（新たな資源化施策の提案・実施）
 - 市民への指導力（新たな分別への協力要請）

ごみを減らすために、
富士市は何をしてきたか

いろいろやってきた ⇒ でも、目標値は達成できない
⇒ じゃあ、目標値を下げよう!!!

2

フジスマートプラン21の概要

1 フジスマートプラン21の目的

フジスマートプラン21の目的は、「富士山が映えるきれいなまち ふじ」を目指して3つの基本理念を基本として、循環型システムを整備し、持続的発展を図ることです。

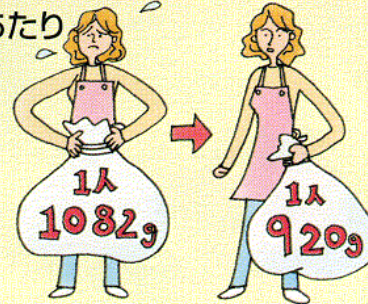
2 フジスマートプラン21の目標

フジスマートプラン21は、平成12年度を起点とし、平成26年度を目標年次とした15年間の長期計画です。目標年次における具体的な目標値は次のとおりです。

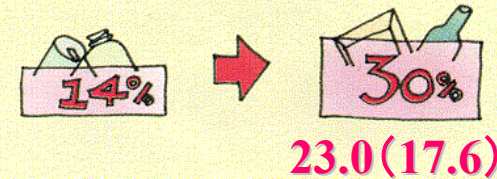
■ フジスマートプラン21で掲げる4つの目標

- 平成26年度において、1人1日あたり排出量を920gに

860(858)

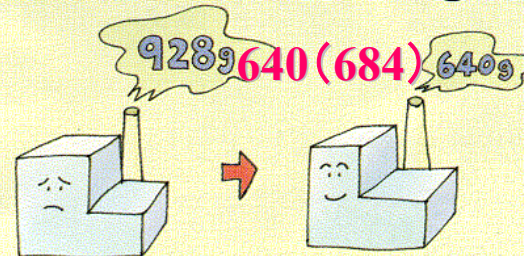


- 平成26年度において、資源化率30%に

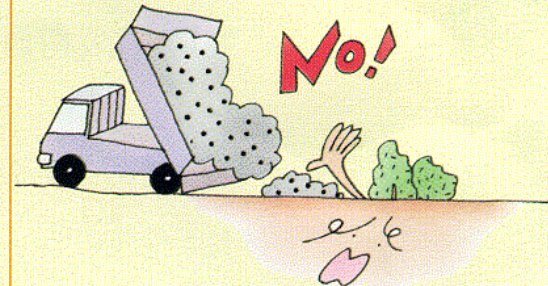


23.0(17.6)

- 平成26年度において、1人1日あたり焼却量を640gに



- 埋立量を極力ゼロに



※修正目標値(単純推計値)

富士市のごみ処理施策の経緯(1)

| | |
|-------|--|
| 平成11年 | ・ペットボトル拠点回収開始(市内54店舗) |
| 平成12年 | ・剪定枝資源化モデル事業開始 ・ごみ処理基本計画策定検討委員会設置 ・環境クリーンセンター更新検討委員会設置 |
| 平成13年 | ・生ごみ処理機購入補助金制度導入 |
| 平成15年 | ・廃棄物等減量化推進審議会設置(継続中) ・ごみマイスター育成開始 |
| 平成16年 | ・地域生ごみ処理モデル事業開始 |

富士市のごみ処理施策の経緯(2)

| | |
|-------|---|
| 平成18年 | <ul style="list-style-type: none">・その他の紙、 ペットボトルのステーション回収開始・白色トレイの拠点回収開始(18店舗) |
| 平成20年 | <ul style="list-style-type: none">・田子浦地区において、 プラスチック製容器包装類の分別回収開始・廃食用油拠点回収開始(10箇所) |
| 平成21年 | <ul style="list-style-type: none">・プラスチック製容器包装類の ステーション回収、市内全域開始・ごみの指定袋制導入・レジ袋の無料配布中止(9事業者31店舗) |

富士市のごみ処理施策の経緯(3)

| | |
|-------|---|
| 平成22年 | <ul style="list-style-type: none">・家庭用手動式生ごみ処理機器 購入補助金制度開始 (ダンボールコンポスト“だつくす食んたくん”)・学校における廃食用油試行回収開始 (富士南小学校) |
|-------|---|

ごみを減らすために、
富士市は何をしようと
しているのか

最近の排出抑制・資源化施策

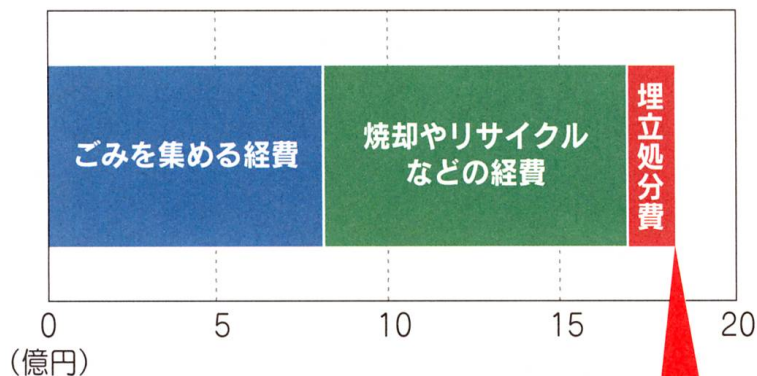
- **生ごみ減量・資源化の推進**
 - 生ごみ資源化講座
 - 生ごみ自家処理(家庭用生ごみ処理機器、ボカシ)
 - 生ごみの一絞り運動
 - 廃食用油のBDF化
- **紙ごみ 分別の徹底**
 - その他の紙の分別回収・資源化
- **容器包装ごみ減量・分別の徹底**
 - ペットボトル、白色トレイのステーション回収・資源化
 - レジ袋の有料化 - マイバック持参運動
 - プラ製容器包装類の回収・資源化
- **指定ごみ袋制の導入**
- **ごみの有料化**

富士市の
ごみ処理状況

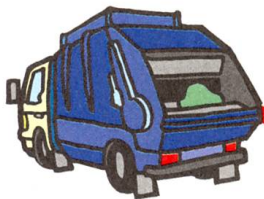
No.17

ごみ減量で**ごみ処理経費**も**削減!**

【平成18年度ごみ処理経費】



1年間のごみ処理経費は…



約18億円



1年間の費用で、
公民館が6館建てられます!

みなさんのおかげでごみ減量が進んだ平成18年度のごみ処理経費は、**約18億円**でした。これは前年度と比較して1億8千万円も削減できたこととなります。

とはいえ、捨てられたごみを処分するために**18億円**ものお金が使われることは、とてももったいないことです。私たち一人ひとりが、日常生活の中で少しずつごみを減らし、ごみ処理にかかるお金を減らしていきましょう。

平成21年度資源物の収支報告をします

各世帯から集められた資源物は、中間処理業者へと収集運搬され、最終的に再資源化業者によってリサイクルされています。
ここでは、平成21年度の資源物の回収量、それに対する費用、売払金について報告します。



| 品目 | 回収量(t) | 支出 | | | 収入 |
|-----------------|--------|-----------|---------------|-----------|---------|
| | | 収集運搬費(千円) | 中間処理費(千円) | 再資源化費(千円) | 売払金(千円) |
| かん | 815 | 37,422 | | | 26,683 |
| 金属類 | 1,118 | | | | 26,531 |
| ペットボトル | 620 | 3,358 | 11,059 | | 9,083 |
| プラスチック製 容器包装 | 2,199 | 48,132 | 55,945 | 4,977 | |
| びん | 1,889 | 39,448 | 27,234 | 1,153 | 634 |
| 古紙類 | 6,240 | 52,741 | 支出合計: 282,260 | | 24,143 |
| 廃食用油 | 8 | 791 | | | 201 |
| 合計 | 12,889 | 181,892 | 94,238 | 6,130 | 87,275 |

※かんの売払い金額のうち、一部は就労支援施設に寄付しています。